

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
320227	X-21-B-1-320227	1	前期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	1年
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	1年
授業科目	担当教員			【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択	1年
中国語 1 aA	佐藤 若菜			【1-3年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
		【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×		

授業目的

発音、声調、ピンイン、文の構造など、中国語の基礎的なしくみを理解する。基本的な会話と読解の能力を身につける。高度な語学運用にむけて基礎を築く。口頭試験・リスニング試験・筆記試験、口頭発表とレポートを通して、反転授業を実施する。

各回の授業内容

<p>第1回 【授】 第一課 声調／母音 第二課 前鼻音と後鼻音 【前・後】 付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。予習復習に4時間。</p> <p>第2回 【授】 第二・三課 子音 【前・後】 付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。予習復習に4時間。</p> <p>第3回 【授】 第四課 中国語特有のルール 【前・後】 付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。予習復習に4時間。</p> <p>第4回 【授】 口頭試験 リスニング試験 筆記試験 【前・後】 付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。ここまでの総復習を行う。予習復習に4時間。</p> <p>第5回 【授】 第五課 “是”の用法（基本語順／疑問文／否定文）／人称代名詞 【前・後】 付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。教科書の中国語の例文を日本語に訳す。練習問題を解く。授業の内容を復習する。予習復習に4時間。</p> <p>第6回 【授】 第六課 形容詞述語文／主述語文 【前・後】 付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。教科書の中国語の例文を日本語に訳す。練習問題を解く。授業の内容を復習する。予習復習に4時間。</p> <p>第7回 【授】 第七課 “的”の用法／“呢”を使った疑問文／二重目的語 【前・後】 付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。教科書の中国語の例文を日本語に訳す。練習問題を解く。授業の内容を復習する。予習復習に4時間。</p> <p>第8回 【授】 第八課 選択疑問文／“多少”と“几”の疑問文／場所を表す指示代名詞 【前・後】 付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。教科書の中国語の例文を日本語に訳す。練習問題を解く。授業の内容を復習する。予習復習に4時間。</p>	<p>第9回 【授】 第九課 指示代詞／文末付加型疑問文／“吧”の用法 【前・後】 付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。教科書の中国語の例文を日本語に訳す。練習問題を解く。授業の内容を復習する。予習復習に4時間。</p> <p>第10回 【授】 第十課 復習（基本構文／疑問文の種類） 【前・後】 付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。教科書の中国語の例文を日本語に訳す。練習問題を解く。授業の内容を復習する。予習復習に4時間。</p> <p>第11回 【授】 筆記試験 リスニング試験 口頭試験 【前・後】 付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。ここまでの総復習を行う。予習復習に4時間。</p> <p>第12回 【授】 第十一課 所有を表す“有”／助動詞“可以”／“太～了” 【前・後】 付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。教科書の中国語の例文を日本語に訳す。練習問題を解く。授業の内容を復習する。予習復習に4時間。</p> <p>第13回 【授】 第十二課 存在を表す“有”／量詞／“的”が省略できる場合／動詞の重ね型 【前・後】 付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。教科書の中国語の例文を日本語に訳す。練習問題を解く。授業の内容を復習する。予習復習に4時間。</p> <p>第14回 【授】 口頭試験 筆記試験 リスニング試験 【前・後】 付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。ここまでの総復習を行う。予習復習に4時間。</p> <p>第15回 【授】 口頭発表（自己紹介） 【前・後】 これまで習った文法や単語を用いて、中国語で自己紹介文を書く。予習復習に4時間。</p> <p>第16回 【授】 レポート 【前・後】 口頭発表に対するアドバイスを踏まえて、自己紹介文を完成させる。予習復習に4時間。</p>
---	--

成績評価方法

口頭試験・リスニング試験・筆記試験（60%）、口頭発表（20%）とレポート（20%）により評価する。試験を採点して返却し、解説を行う。また、口頭発表を採点して、改善点を指導する。

教科書・参考書

『理香と王麗 話す中国語1-』（董燕・遠藤光暁、朝日出版社）

受講に当たっての留意事項

中日辞典（紙媒体ないし電子辞書）を必ず持参すること。

実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表等）の実施
×		○

学習到達目標

中国語を話す、聴く、書く、読むための基礎力を身につける。

JABEE

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
320227	X-21-B-1-320227	1	前期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	1年
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	1年
授業科目	担当教員			【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択	1年
中国語 1 aB	佐藤 若菜			【1-3年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
		【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×		

授業目的

発音、声調、ピンイン、文の構造など、中国語の基礎的なしくみを理解する。基本的な会話と読解の能力を身につける。高度な語学運用にむけて基礎を築く。口頭試験・リスニング試験・筆記試験、口頭発表とレポートを通して、反転授業を実施する。

各回の授業内容

<p>第1回 【授】 第一課 声調／母音 第二課 前鼻音と後鼻音 【前・後】 付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。予習復習に4時間。</p> <p>第2回 【授】 第二・三課 子音 【前・後】 付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。予習復習に4時間。</p> <p>第3回 【授】 第四課 中国語特有のルール 【前・後】 付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。予習復習に4時間。</p> <p>第4回 【授】 口頭試験 リスニング試験 筆記試験 【前・後】 付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。ここまでの総復習を行う。予習復習に4時間。</p> <p>第5回 【授】 第五課 “是”の用法（基本語順／疑問文／否定文）／人称代名詞 【前・後】 付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。教科書の中国語の例文を日本語に訳す。練習問題を解く。授業の内容を復習する。予習復習に4時間。</p> <p>第6回 【授】 第六課 形容詞述語文／主述語文 【前・後】 付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。教科書の中国語の例文を日本語に訳す。練習問題を解く。授業の内容を復習する。予習復習に4時間。</p> <p>第7回 【授】 第七課 “的”の用法／“呢”を使った疑問文／二重目的語 【前・後】 付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。教科書の中国語の例文を日本語に訳す。練習問題を解く。授業の内容を復習する。予習復習に4時間。</p> <p>第8回 【授】 第八課 選択疑問文／“多少”と“几”の疑問文／場所を表す指示代名詞 【前・後】 付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。教科書の中国語の例文を日本語に訳す。練習問題を解く。授業の内容を復習する。予習復習に4時間。</p>	<p>第9回 【授】 第九課 指示代詞／文末付加型疑問文／“吧”の用法 【前・後】 付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。教科書の中国語の例文を日本語に訳す。練習問題を解く。授業の内容を復習する。予習復習に4時間。</p> <p>第10回 【授】 第十課 復習（基本構文／疑問文の種類） 【前・後】 付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。教科書の中国語の例文を日本語に訳す。練習問題を解く。授業の内容を復習する。予習復習に4時間。</p> <p>第11回 【授】 筆記試験 リスニング試験 口頭試験 【前・後】 付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。ここまでの総復習を行う。予習復習に4時間。</p> <p>第12回 【授】 第十一課 所有を表す“有”／助動詞“可以”／“太～了” 【前・後】 付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。教科書の中国語の例文を日本語に訳す。練習問題を解く。授業の内容を復習する。予習復習に4時間。</p> <p>第13回 【授】 第十二課 存在を表す“有”／量詞／“的”が省略できる場合／動詞の重ね型 【前・後】 付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。教科書の中国語の例文を日本語に訳す。練習問題を解く。授業の内容を復習する。予習復習に4時間。</p> <p>第14回 【授】 口頭試験 筆記試験 リスニング試験 【前・後】 付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。ここまでの総復習を行う。予習復習に4時間。</p> <p>第15回 【授】 口頭発表（自己紹介） 【前・後】 これまで習った文法や単語を用いて、中国語で自己紹介文を書く。予習復習に4時間。</p> <p>第16回 【授】 レポート 【前・後】 口頭発表に対するアドバイスを踏まえて、自己紹介文を完成させる。予習復習に4時間。</p>
---	--

成績評価方法

口頭試験・リスニング試験・筆記試験（60%）、口頭発表（20%）とレポート（20%）により評価する。試験を採点して返却し、解説を行う。また、口頭発表を採点して、改善点を指導する。

教科書・参考書

『理香と王麗 話す中国語1-』（董燕・遠藤光暁、朝日出版社）

受講に当たっての留意事項

中日辞典（紙媒体ないし電子辞書）を必ず持参すること。

実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表等）の実施
×		○

学習到達目標

中国語を話す、聴く、書く、読むための基礎力を身につける。

JABEE

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習